

整理番号	
------	--

家族ケアと非薬物療法

1 家族に対する「認知症の人と家族の会」についての情報提供	a	b	c
2 家族または本人の認知症医療や介護に関する相談の応需	a	b	c
3 多職種チームによる困難事例に対するケースワーク	a	b	c
4 認知リハビリテーション	a	b	c
5 認知症に対するデイケア	a	b	c

行政・普及啓発

1 かかりつけ医へのサポート（診断・情報提供・助言など）	a	b	c
2 行政が関わっている事例の診断・助言	a	b	c
3 かかりつけ医の研修（研修会への講師派遣など）	a	b	c
4 地域包括支援センター職員の研修（研修会の講師派遣など）	a	b	c
5 成年後見用の診断書・鑑定書の作成	a	b	c
6 虐待事例のケースワーク	a	b	c
7 一般住民向けの講演会への講師派遣	a	b	c
8 認知症予防教室の開催	a	b	c
9 介護支援専門員への助言または連携	a	b	c
10 地域包括支援センター職員への助言または連携	a	b	c
11 グループホーム等施設介護者への助言・指導	a	b	c

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒で平成 21 年 12 月 18 日（金）までにご返送ください。

～お問い合わせ先～

〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学大学院人間総合科学研究科

疾患制御医学専攻精神病態医学分野（精神科）

E-mail : yuubyouritsu@yahoo.co.jp

FAX : 029-853-3182

整理番号	
------	--

調査票1

認知症に関する医療サービス資源の現状把握調査

※問い 1～19 は

事務か地域連携の担当者にお答えいただければ幸いです。

※問い 20～24 については

病棟の看護師長さんなど現場担当者も加わってお答え下さい。

※調査票 2（臨床個人票）10 部と一緒に、同封の返信用封筒で

平成 22 年 3 月 19 日（金）までにご返送ください。

～お問い合わせ先～

〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学大学院人間総合科学研究科

疾患制御医学専攻精神病態医学分野（精神科）

E-mail : yuubyouritsu@yahoo.co.jp

FAX : 029-853-3182

整理番号	
------	--

貴院はどの団体に所属されていますか。(該当するもの全てに○)

	日 本 病 院 会		全 日 本 病 院 協 会
	日 本 医 療 法 人 協 会		日 本 慢 性 期 医 療 協 会
	日 本 精 神 科 病 院 協 会		

平成 20 年度(平成 20 年 4 月 1 日～21 年 3 月 31 日)に認知症のある患者さんが入院されていましたか。

	該当あり	⇒	以下の設問にご回答ください。
	該当なし	⇒	設問 1 のみ回答して、返信用封筒にてご返送ください。

設問 1. 貴医療機関の形態について、該当する番号と記号を○で囲んでください。

- 1. 病院 (精神科病院 療養病床 一般病院)
- 2. その他 ()

設問 2. 貴医療機関の標榜診療科名について、該当する番号を○で囲んでください。(複数回答可)

1. 内科	15. 外科	29. 精神科
2. 呼吸器内科	16. 呼吸器外科	30. アレルギー科
3. 循環器内科	17. 心臓血管外科	31. リウマチ科
4. 消化器内科	18. 消化器外科	32. 小児科
5. 血液内科	19. 小児外科	33. 皮膚科
6. 気管食道内科	20. 気管食道外科	34. 泌尿器科
7. 胃腸内科	21. 肛門外科	35. 産婦人科 (産科または婦人科)
8. 糖尿病内科	22. 整形外科	36. 眼科
9. 代謝または内分泌内科	23. 脳神経外科	37. 耳鼻咽喉科
10. 腎臓内科	24. 形成外科	38. リハビリテーション科
11. 神経内科	25. 美容外科	39. 放射線科
12. 心療内科	26. 頭頸部外科	40. 救急科
13. 感染症内科	27. 胸部外科	41. その他 ()
14. 老年内科	28. 腹部外科	42. その他 ()

設問 3. 貴機関の病床総数をお答えください。

_____ 床

設問 4. 貴機関では認知症のある方の対応をどの病棟でなさっているかお答えください。
(複数回答可)

<一般病床 (医療保険)>

1)一般病院

①入院基本料算定病棟

特定機能病院 専門病院 障害者施設等 左記以外の一般

②特定入院料算定病棟

特殊疾患病棟 回復期リハビリテーション病棟など
 緩和ケア病棟 亜急性期病棟 救命救急病棟

2)有床診療所

有床診療所入院基本料

<精神病床>

1)医療保険

①精神科入院基本料算定病棟

特定機能病院 特定機能病院以外

②特定入院料算定病棟

認知症病棟 精神療養病棟 特殊疾患病棟
 精神科救急・合併症病棟 精神科急性期治療病棟 精神科救急病棟

2)介護保険

介護療養型医療施設(認知症疾患型)
 経過型介護療養型医療施設(認知症疾患型)

<療養病床>

1)医療保険

①療養病棟

療養病棟入院基本料算定 回復期リハビリテーション病棟

②有床診療所

療養病床入院基本料算定

2)介護保険

有床診療所(介護療養型医療施設) 介護療養型医療施設(認知症疾患型以外)
 経過型介護療養型医療施設(認知症疾患型以外)

設問 5. 貴機関のスタッフ数についてお答えください（常勤換算数は常勤＋非常勤）

医 師	:	常勤_____名、	非常勤_____名	常勤換算数_____名
看 護 師	:	常勤_____名、	非常勤_____名	常勤換算数_____名
准 看 護 師	:	常勤_____名、	非常勤_____名	常勤換算数_____名
薬 剤 師	:	常勤_____名、	非常勤_____名	常勤換算数_____名
放 射 線 技 師	:	常勤_____名、	非常勤_____名	常勤換算数_____名
臨 床 検 査 技 師	:	常勤_____名、	非常勤_____名	常勤換算数_____名
理 学 療 法 士	:	常勤_____名、	非常勤_____名	常勤換算数_____名
作 業 療 法 士	:	常勤_____名、	非常勤_____名	常勤換算数_____名
言 語 聴 覚 士	:	常勤_____名、	非常勤_____名	常勤換算数_____名
臨 床 心 理 士	:	常勤_____名、	非常勤_____名	常勤換算数_____名
社 会 福 祉 士	:	常勤_____名、	非常勤_____名	常勤換算数_____名
精 神 保 健 福 祉 士	:	常勤_____名、	非常勤_____名	常勤換算数_____名
介 護 支 援 専 門 員	:	常勤_____名、	非常勤_____名	常勤換算数_____名
介 護 福 祉 士	:	常勤_____名、	非常勤_____名	常勤換算数_____名
そ の 他 の 介 護 職	:	常勤_____名、	非常勤_____名	常勤換算数_____名

設問 6. 貴機関に「認知症サポート医」はおられますか。

1. いる 2. いない

設問 7. 貴機関の医師に「かかりつけ医認知症対応力向上研修」に参加された方はおられますか。

1. いる 2. いない

以下では「認知症のある患者さん」とは、認知症に対する治療の有無にかかわらず、レセプト上認知症の病名(認知症、アルツハイマー病、アルツハイマー型老年認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、ピック病、前頭側頭型認知症、正常圧水頭症など)が付けられている方を意味します。認知症を主病名として入院しているのか、他の疾患が主で認知症を持っている患者なのかの違いは問いません。

設問 8. 平成 20 年度(平成 20 年 4 月 1 日から 21 年 3 月 31 日)に認知症のある患者さんが入院されていましたか。

1. いる 2. いない

設問 9. 平成 20 年度の全入院患者数と認知症のある入院患者数をお答えください。

全入院患者数 _____名 認知症のある入院患者数 _____名

設問 10. 平成 20 年度の入院患者全体と認知症のある入院患者の平均の年齢と在院日数は？

全体(含む認知症患者)の平均年齢 _____歳 認知症のある患者の平均年齢 _____歳

全体(含む認知症患者)の在院日数 _____日 認知症のある患者の在院日数 _____日

設問 11. 平成 20 年度に入院された認知症のある患者さんについて、どこから入院されたか各々の人数をお答えください。

自宅から _____名 他の医療機関から転院 _____名 特養から _____名

老健施設から _____名 グループホームから _____名 特定 _____名 その他 _____名

設問 12. 平成 20 年度に在院された認知症のある患者さんにつき次の人数をお答えください。

1)退院者の人数

退院者数 _____名 死亡退院者数 _____名 死亡以外の退院(含む他施設への移動) _____名

2)退院者の行き先

自宅へ _____名 他の医療機関へ転院 _____名 特養へ _____名 老健施設へ _____名

グループホームへ _____名 特定へ _____名 その他 _____名

3)平成 21 年 9 月 30 日になお在院していた方の数 _____名

設問 13. 平成 20 年度に退院された認知症のある患者さんのうち、貴院の医師・看護師以外のスタッフによって特に力を入れた退院支援をされた方が何名おられますか？(既に退院か、今でも在院かは問いません)

_____ 名

設問 14. 退院支援された結果、他施設や家族から受け入れられた方は何名ですか？

_____ 名

設問 15. 施設のタイプ別に、退院支援により受け入れてもらえた人数をお答えください。

他の医療機関 _____名 精神科病院 _____名 特別養護老人ホーム _____名
老健施設 _____名 グループホーム _____名 その他介護保険系施設 _____名

設問 16. 退院支援のご努力にもかかわらず受けていただけなかった方の人数をお答えください。(交渉中に死亡退院された方も含みます)

_____ 名 (うち死亡退院 _____ 名)

設問 17. 退院支援に関して、普段から密接な連携を取りあっておられる精神科病院がありますか？

1. はい 2. いいえ

設問 18. 介護保険系施設(特別養護老人ホーム、老健施設、グループホームなど)からの要請に応じて入院を受け入れたものの、改善・安定化された後に元の施設からその方の受け入れを断られたことがありますか？はい、いいえを○で囲っていただき、はいの場合は人数もお書きください。

1. はい → 何名ですか？ _____名 2. いいえ

設問 19. そのように元の施設から受け入れられなかった方は最終的にどこに行かれましたか？

他の医療機関 _____名 精神科病院 _____名 特別養護老人ホーム _____名
老健施設 _____名 グループホーム _____名 その他介護保険系施設 _____名
自宅 _____名 在院のまま _____名

以下については自由記載でご意見をご教示下さい。なお書き足りないとお考えの場合は別紙等にご加筆下さい。

設問 20. 貴施設で行っておられる認知症患者さんへの設備面・ケアの工夫としてとくに有効と思われるものがございましたらご教示ください。

設問 21. ケアの負担感がとくに大きい夜間ケアに関して、排泄介助や抑制等はどうあるべきかについてお考えがございましたら、ご自由にご記入ください。

設問 22. 認知症の医療・ケアの効果を上げる上で基本となる患者さんのご家族との関係について、日ごろとくに留意されていることがあればご教示ください。

設問 23. 認知症のケアをさらに安全かつ効果的なものにするために是非とも進めて欲しいとお考えになる科学的研究のテーマがありましたら、ご教示ください。(例えばアルツハイマー病の患者さんの食事動作を円滑に進めるための方開発など)

設問 24. 日常業務の中で、認知症医療の課題、対応で困っておられること、問題点だとお感じのことがございましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

整理番号	
記入者氏名	

調査票 2 臨床個人票

本表は、病棟の実情に詳しい看護師長さんなどにご記入いただきますと幸いです。

調査対象は平成20年4月1日以降21年3月31日までの期間に在院された患者さんのうち、認知症がある方です。主治医意見書やレセプト病名に認知症の病名があるか否かは問いません。認知症ありの方の中から、「あいうえお」順で10名選んでください。

該当する人について、3月31日より前で一番最近作成された主治医意見書をもとに、以下の問いにお答えください。そのような主治医意見書がない場合には、平成21年3月31日もしくは退院の時点でどのような状態であったかについてお答えください。なお斜体になっている設問につきましては、新たに作成した問いで、本来の主治医意見書にはないものですのでご注意ください。

1 患者さんのイニシャルと年齢、性別

イニシャル (姓, 名) _____, _____ 年齢 _____ 歳 男性, 女性 (該当に○)

2 主治医意見書の最終記入日

該当 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 非該当 (介護保険の非利用者を含む)

3 主治医の診療科

内科 精神科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科
 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 歯科 その他

4 認知症の基礎疾患

アルツハイマー病 脳血管性認知症 ピック病などの前頭側頭型認知症
 レビー小体型認知症 その他 (病名: _____)
 臨床判断(レセプトにも主治医意見書にも認知症の病名はないが、臨床的に認知症症状がある)

5 認知症を主病名に入院しましたか? はい いいえ

6 特別な医療

(1) 次の疾患があればチェック 悪性腫瘍 急性期の心筋梗塞・脳卒中 大腿骨頸部骨折

(2) 過去14日間以内に受けた医療のすべてにチェック

処置内容 点滴の管理 中心静脈栄養 透析 ストーマの処置
 酸素療法 レスピレーター 気管切開の処置
 疼痛の看護 経管栄養(含む胃ろう)

特別な対応 モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等) 褥瘡の処置
 失禁への対応 カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)

7 心身の状態に関する意見

(1) 日常生活の自立度等について

・障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

自立 J1 J2 A1 A2 B1 B2 C1 C2

・認知症高齢者の日常生活自立度

自立 I IIa IIb IIIa IIIb IV M

(2) 記憶力や思考力など認知症の中核症状（認知症以外の疾患で同様の症状を認める場合を含む）

- ・短期記憶 問題なし 問題あり
- ・日常の意思決定を行うための認知能力
 自立 いくらか困難 見守りが必要 判断できない
- ・自分の意思の伝達能力
 伝えられる いくらか困難 具体的要求に限られる 伝えられない

(3) 行動異常や精神症状など認知症の周辺症状（該当する項目全てチェック）

- 無
- 有 → 幻視・幻聴 妄想 昼夜逆転 暴言 暴行
 介護への抵抗 徘徊 火の不始末 不潔行動
 性的問題行動 その他
 大声 他の利用者等への危害 離施設(脱走)企図

(4) 身体の状態

- 四肢欠損 あり なし
- 麻痺 あり なし
- 筋力の低下 あり なし
- 関節の拘縮 あり なし
- 関節の痛み あり なし
- 失調・不随意運動 あり なし
- 褥瘡 あり なし

8 生活機能とサービスに関する意見

(1) 移動

- 屋外歩行 自立 介助があればしている していない
- 車いすの使用 用いていない 主に自分で操作している 主に他人が操作している
- 歩行補助具・装具の使用（福祉選択可） 用いていない 屋外で使用 屋内で使用

(2) 栄養・食生活

- 食事行為 自立ないし何とか自分で食べられる 全面介助
- 現在の栄養状態 良好 不良

→ 栄養・食生活上の留意点（ ）

(3) 現在ある状態

- 尿失禁 転倒・骨折 移動能力の低下 褥瘡 心肺機能の低下
- 閉じこもり 意欲低下 徘徊 低栄養 摂食・嚥下機能低下
- 脱水 易感染性 がん等による疼痛 その他

(4) 感染症の有無（有の場合は具体的に記入してください）

- 無 有（ ） 不明

9 退院支援の有無と結果

(1) 特に力を入れた退院支援の有無 した していない

(2) 退院支援をした場合に、貴施設から移った先（該当するところにチェック）

- 他の医療機関 精神科病院へ 特別養護老人ホーム 老健施設
- グループホーム その他介護保険系施設 自宅 現在も自施設内のまま

(3) 退院支援にもかかわらず貴院在院のままの場合は、その理由は？（複数回答可）

- 感染症(肝炎、梅毒、HIVなど) 精神症状・行動異常 精神科入院歴
- 医療の必要度が高い キーパーソン不在 公的支援不足で在宅不能
- 私的支援不足で在宅不能 施設入所待機中 その他

ご協力ありがとうございました。

調査票1と一緒に、同封の返信用封筒で平成22年3月19日（金）までにご返送ください。

表-1 認知症患者に対する医療サービス調査
(回答数 670)

基本機能	実回答数	実回答率	実施している		状況に応じて		実施していない		無回答	
			数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
認知症専門医療機関への紹介	658	98.2%	223	33.3%	255	38.1%	180	26.9%	12	1.8%
介護保険主治医意見書の記載	668	99.7%	631	94.2%	26	3.9%	11	1.6%	2	0.3%
合併する一般身体疾患の通院治療	668	99.7%	423	63.1%	200	29.9%	45	6.7%	2	0.3%
専門領域の身体疾患に対する通院治療	664	99.1%	431	64.3%	136	20.3%	97	14.5%	6	0.9%
抗認知症薬の投薬	669	99.9%	613	91.5%	42	6.3%	14	2.1%	1	0.1%
高齢者総合機能評価	656	97.9%	240	35.8%	203	30.3%	213	31.8%	14	2.1%

診断	実回答数	実回答率	実施している		状況に応じて		実施していない		無回答	
			数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
CT または MRI による神経画像診断	670	100.0%	592	88.4%	58	8.7%	20	3.0%	0	0.0%
SPECT または PET による神経画像診断	668	99.7%	271	40.4%	181	27.0%	216	32.2%	2	0.3%
臨床心理士の雇用	669	99.9%	434	64.8%	32	4.8%	203	30.3%	1	0.1%
アルツハイマー型認知症の診断	669	99.9%	619	92.4%	41	6.1%	9	1.3%	1	0.1%
脳血管性認知症の診断	670	100.0%	612	91.3%	49	7.3%	9	1.3%	0	0.0%
レビー小体型認知症の診断	669	99.9%	566	84.5%	72	10.7%	31	4.6%	1	0.1%
前頭側頭型認知症の診断	670	100.0%	543	81.0%	97	14.5%	30	4.5%	0	0.0%
上記以外の認知症疾患の診断	665	99.3%	500	74.6%	137	20.4%	28	4.2%	5	0.7%
認知症うつ病せん妄の鑑別診断	670	100.0%	600	89.6%	59	8.8%	11	1.6%	0	0.0%

BPSD	実回答数	実回答率	実施している		状況に応じて		実施していない		無回答	
			数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
随伴する抑うつ症状に対する通院治療	668	99.7%	559	83.4%	85	12.7%	24	3.6%	2	0.3%
随伴する幻覚や妄想に対する通院治療	668	99.7%	561	83.7%	81	12.1%	26	3.9%	2	0.3%
随伴する興奮や攻撃性に対する通院治療	668	99.7%	549	81.9%	86	12.8%	33	4.9%	2	0.3%
せん妄に対する通院治療	667	99.6%	526	78.5%	111	16.6%	30	4.5%	3	0.4%
随伴する精神症状行動障害に対する入院治療	666	99.4%	360	53.7%	110	16.4%	196	29.3%	4	0.6%
随伴する精神症状行動障害に対する救急医療	665	99.3%	186	27.8%	211	31.5%	268	40.0%	5	0.7%

往診・訪問診療による	実回答数	実回答率	実施している		状況に応じて		実施していない		無回答	
			数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
身体疾患の治療	668	99.7%	102	15.2%	71	10.6%	495	73.9%	2	0.3%
精神症状行動障害の治療	668	99.7%	117	17.5%	100	14.9%	451	67.3%	2	0.3%
施設での診療	668	99.7%	163	24.3%	90	13.4%	415	61.9%	2	0.3%
終末期医療	666	99.4%	83	12.4%	114	17.0%	469	70.0%	4	0.6%

入院・救急の備え	実回答数	実回答率	実施している		状況に応じて		実施していない		無回答	
			数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
合併する一般身体疾患に対する入院治療	665	99.3%	288	43.0%	185	27.6%	192	28.7%	5	0.7%
専門領域の身体疾患に対する入院治療	658	98.2%	309	46.1%	150	22.4%	199	29.7%	12	1.8%
入院による終末期医療	664	99.1%	141	21.0%	207	30.9%	316	47.2%	6	0.9%
合併する身体疾患に対する救急医療	663	99.0%	198	29.6%	166	24.8%	299	44.6%	7	1.0%
心理行動症状と身体疾患の併存例に対する入院治療	665	99.3%	229	34.2%	245	36.6%	191	28.5%	5	0.7%
虐待事例の緊急医療の実施	659	98.4%	55	8.2%	221	33.0%	383	57.2%	11	1.6%
自院の精神科病床への緊急入院のための空床確保	662	98.8%	106	15.8%	127	19.0%	429	64.0%	8	1.2%
精神科救急システムと連携した緊急事例のトリアージ	663	99.0%	106	15.8%	149	22.2%	408	60.9%	7	1.0%
一般救急システムと連携した緊急事例のトリアージ	661	98.7%	91	13.6%	202	30.1%	368	54.9%	9	1.3%

家族ケアと非薬物療法	実回答数	実回答率	実施している		状況に応じて		実施していない		無回答	
			数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
家族に対する家族会についての情報提供	667	99.6%	170	25.4%	285	42.5%	212	31.6%	3	0.4%
認知症医療や介護に関する相談の応需	667	99.6%	373	55.7%	256	38.2%	38	5.7%	3	0.4%
多職種チームによる困難事例に対するケースワーク	667	99.6%	218	32.5%	282	42.1%	167	24.9%	3	0.4%
認知リハビリテーション	667	99.6%	139	20.7%	164	24.5%	364	54.3%	3	0.4%
認知症に対するデイケア	668	99.7%	127	19.0%	60	9.0%	481	71.8%	2	0.3%

往診・訪問診療による	実回答数	実回答率	実施している		状況に応じて		実施していない		無回答	
			数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
かかりつけ医へのサポート	668	99.7%	360	53.7%	257	38.4%	51	7.6%	2	0.3%
行政が関わっている事例の診断助言	666	99.4%	229	34.2%	300	44.8%	137	20.4%	4	0.6%
かかりつけ医の研修	664	99.1%	201	30.0%	197	29.4%	266	39.7%	6	0.9%
地域包括支援センター職員の研修	663	99.0%	155	23.1%	228	34.0%	280	41.8%	7	1.0%
成年後見用の診断書鑑定書の作成	667	99.6%	373	55.7%	220	32.8%	74	11.0%	3	0.4%
虐待事例のケースワーク	665	99.3%	45	6.7%	240	35.8%	380	56.7%	5	0.7%
一般住民向けの講演会への講師派遣	665	99.3%	246	36.7%	259	38.7%	160	23.9%	5	0.7%
認知症予防教室の開催	666	99.4%	87	13.0%	156	23.3%	423	63.1%	4	0.6%
介護支援専門員への助言または連携	666	99.4%	246	36.7%	308	46.0%	112	16.7%	4	0.6%
地域包括支援センター職員への助言または連携	666	99.4%	217	32.4%	293	43.7%	156	23.3%	4	0.6%
グループホーム等施設介護者への助言指導	667	99.6%	233	34.8%	298	44.5%	136	20.3%	3	0.4%

図-1 所属団体 (回答総数198件、複数回答)

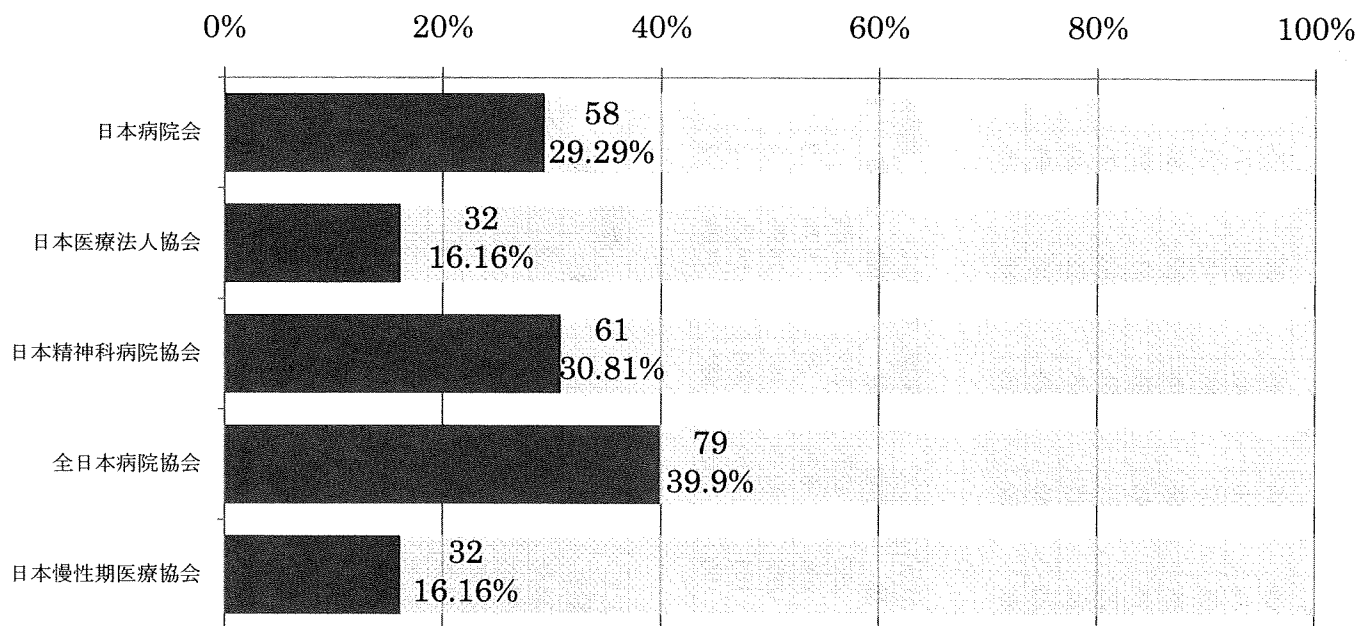


図-2
病院形態

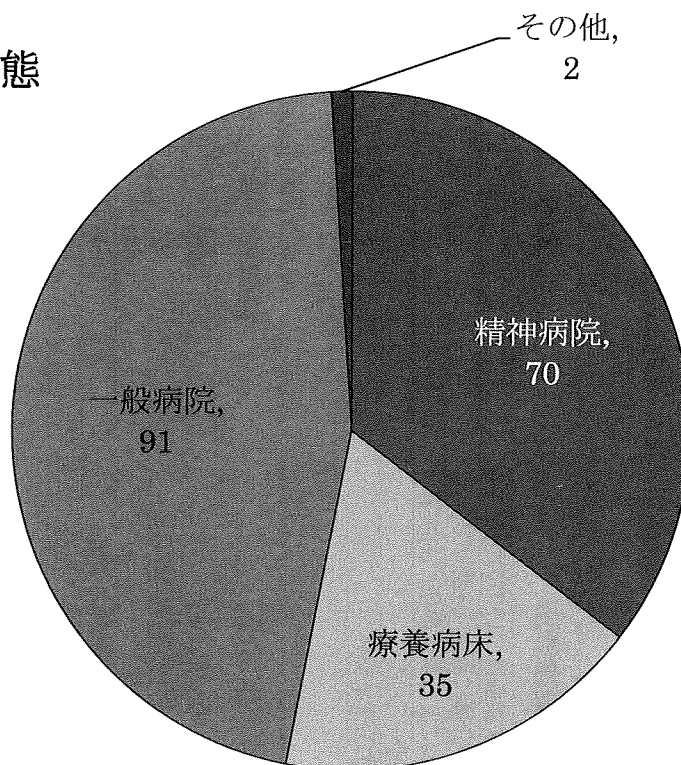


図-3 診療科名 (回答総数198件、複数回答)

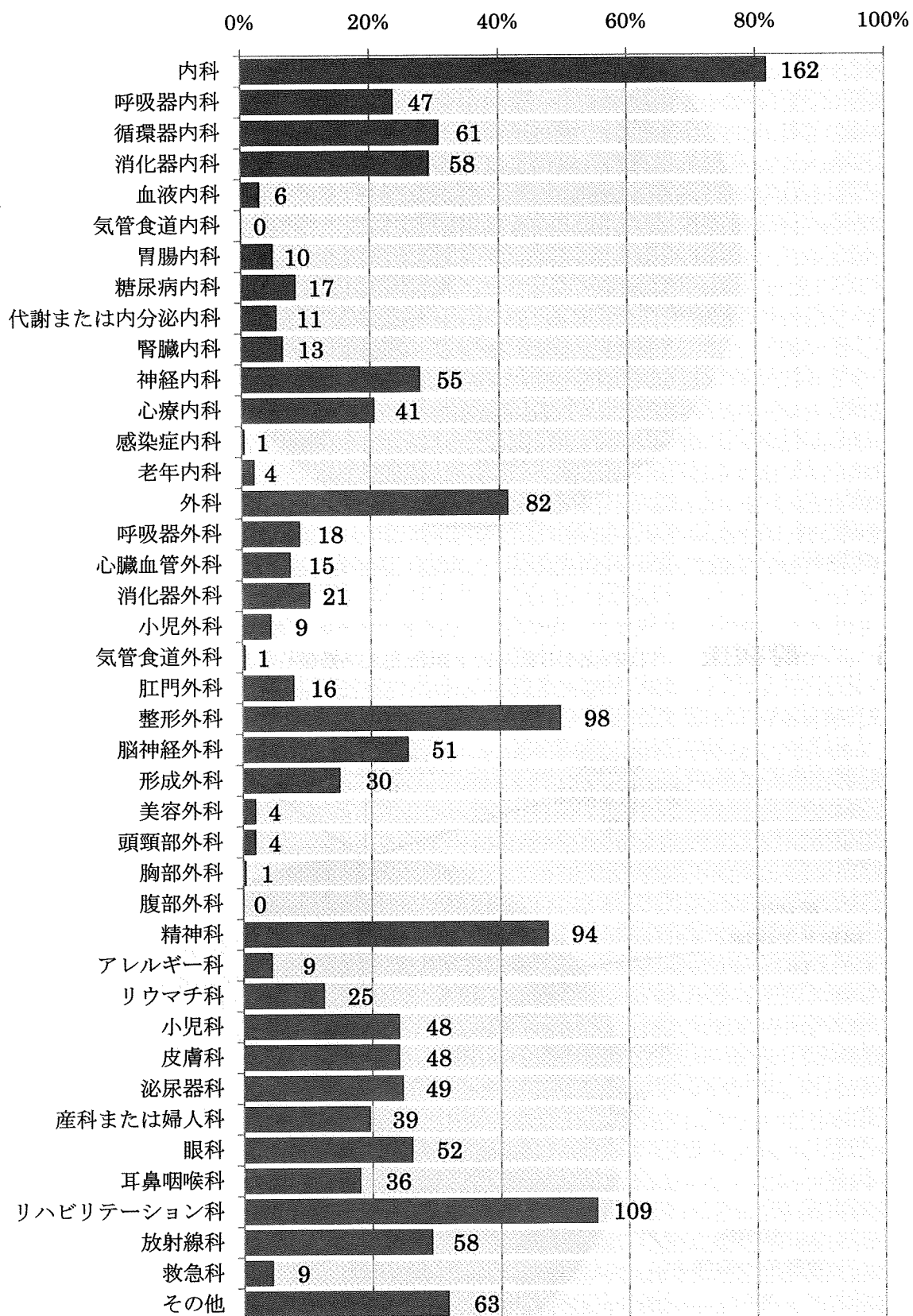


図-4 認知症患者の対応病棟

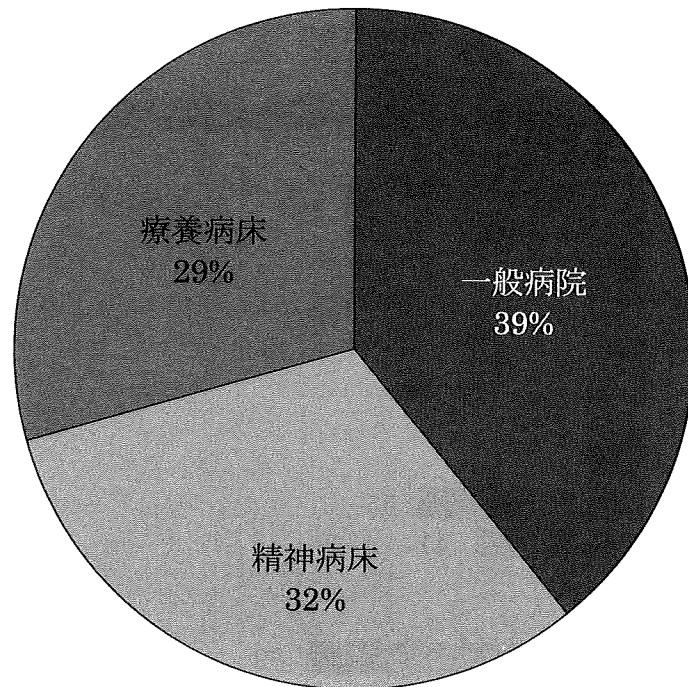


図-5 一般病床 (%表示は小数点以下四捨五入の数値)

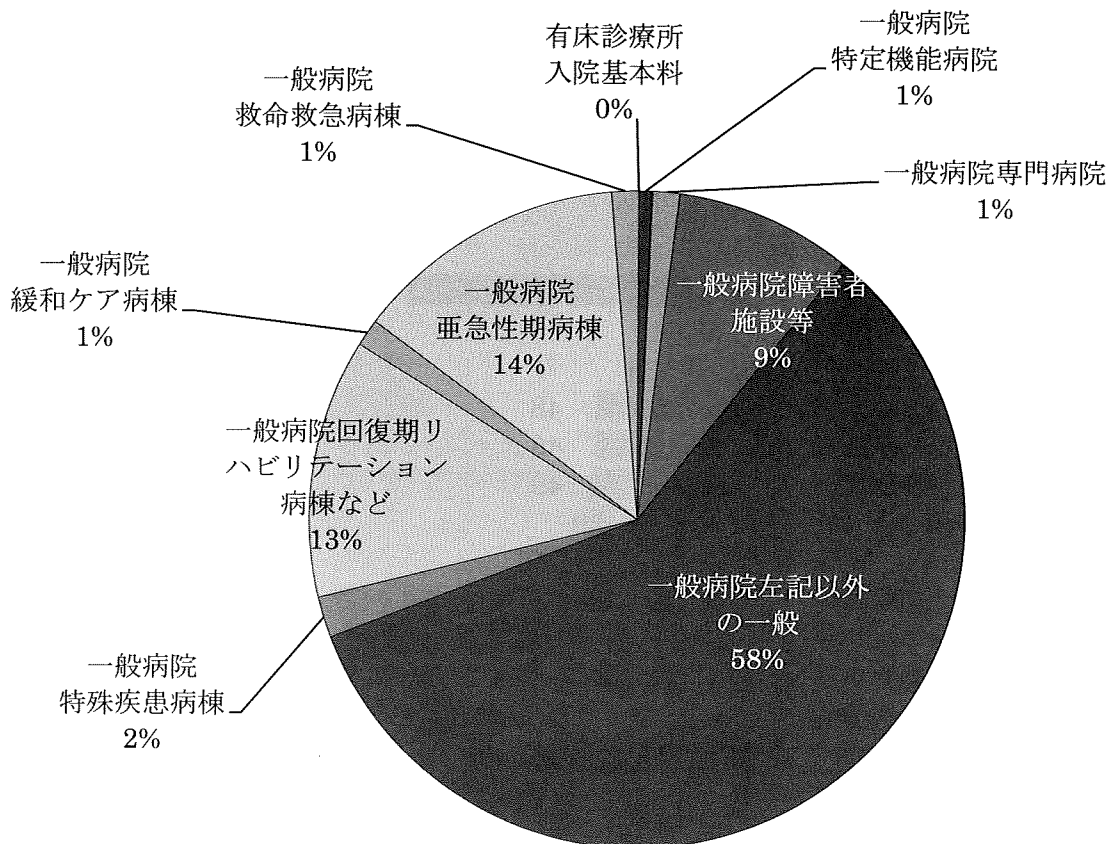


図-6 精神病床

(%表示は小数点以下四捨五入の数値)

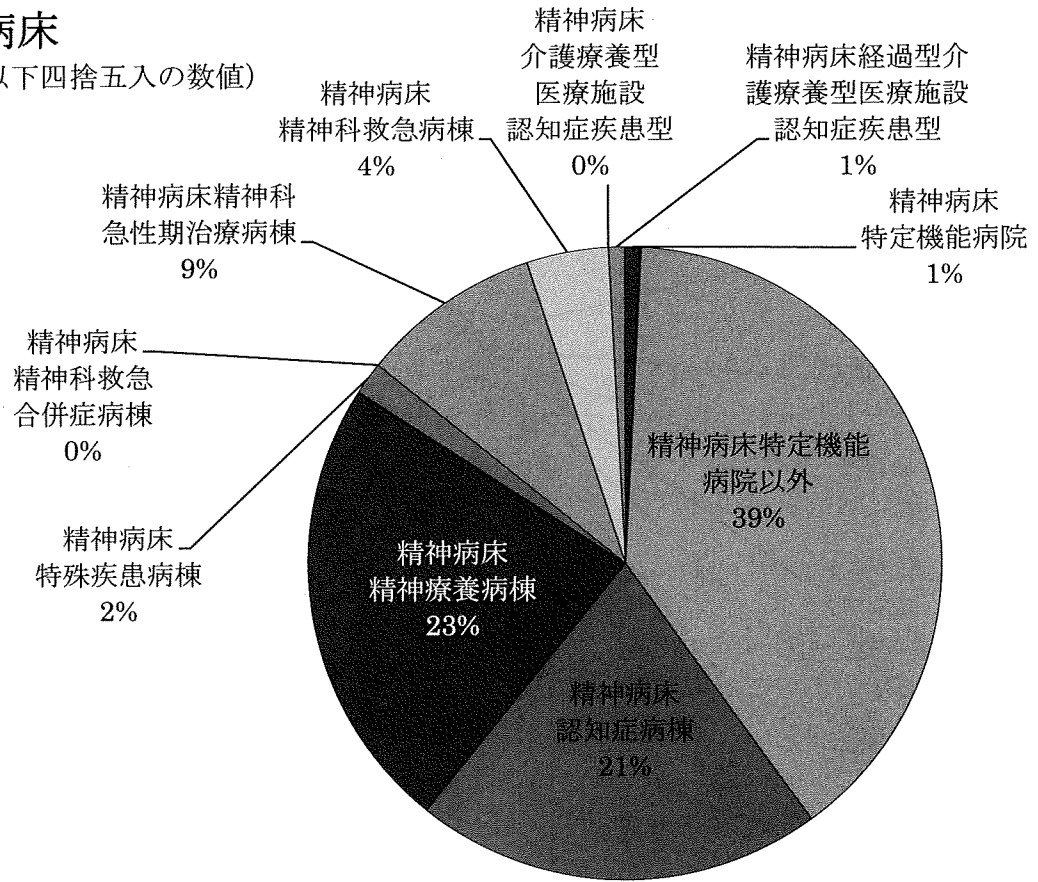


図-7 療養病床

(%表示は小数点以下四捨五入の数値)

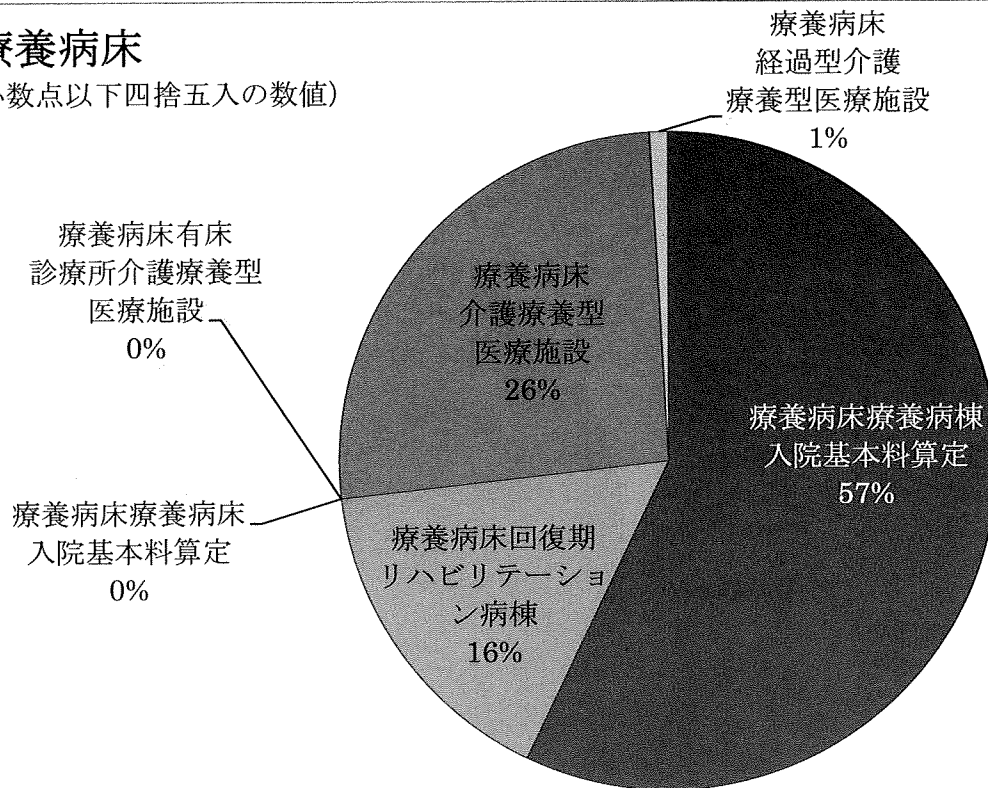


図-8 スタッフ割合

(常勤換算数平均値、%表示は小数点以下四捨五入の数値)

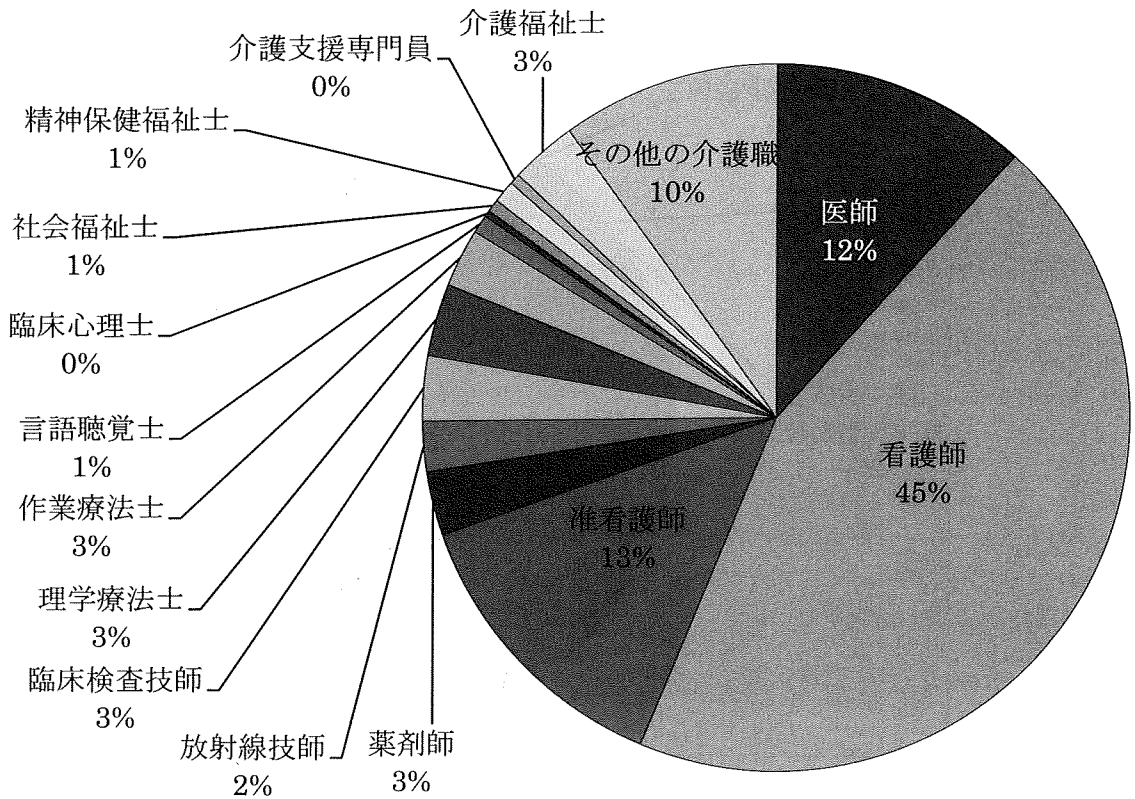


図-9 どこから入院されたか

(平均値)

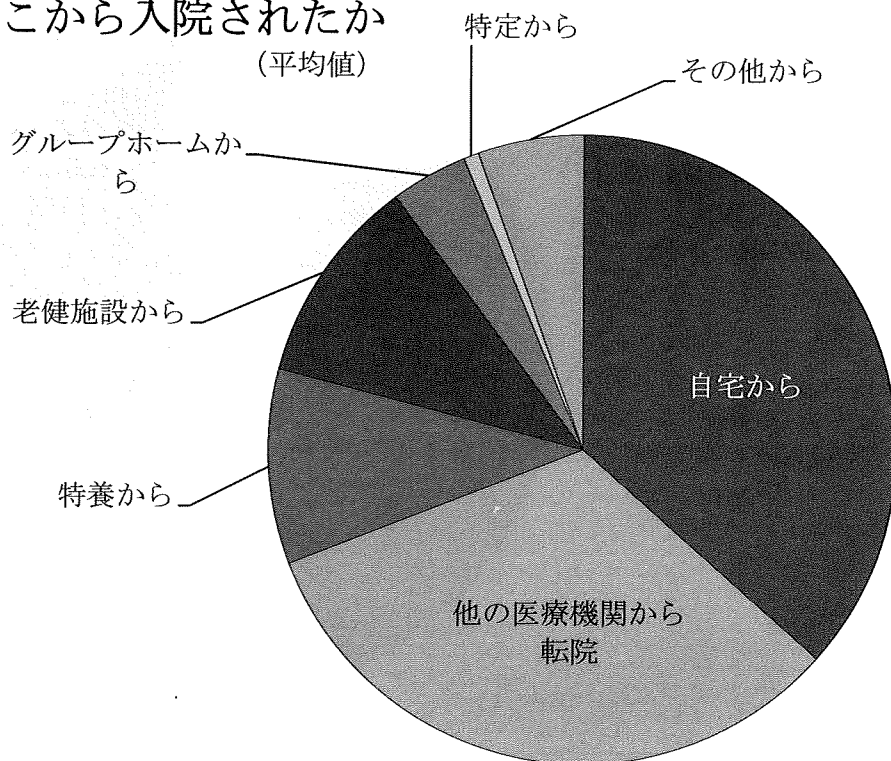


図-10 退院者の行き先
(平均値)

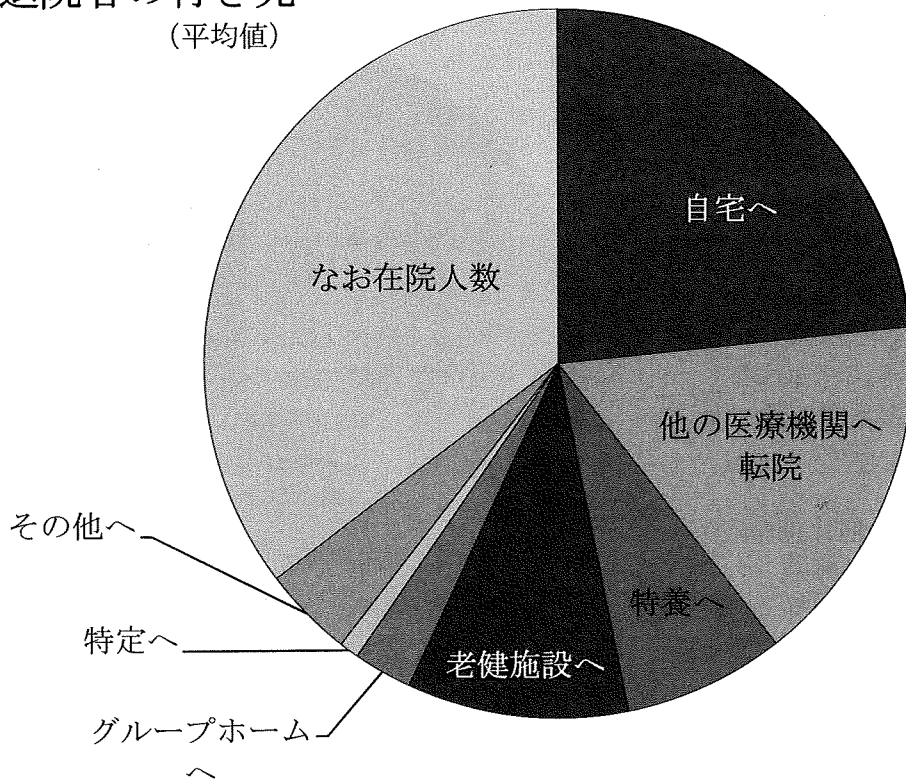


図-11
退院支援での受入先
(平均値)

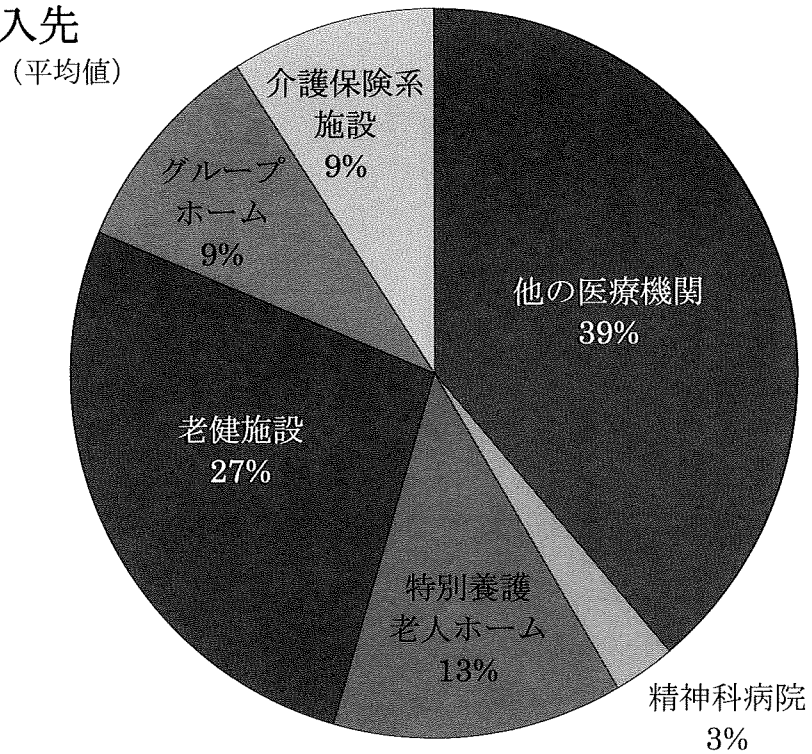
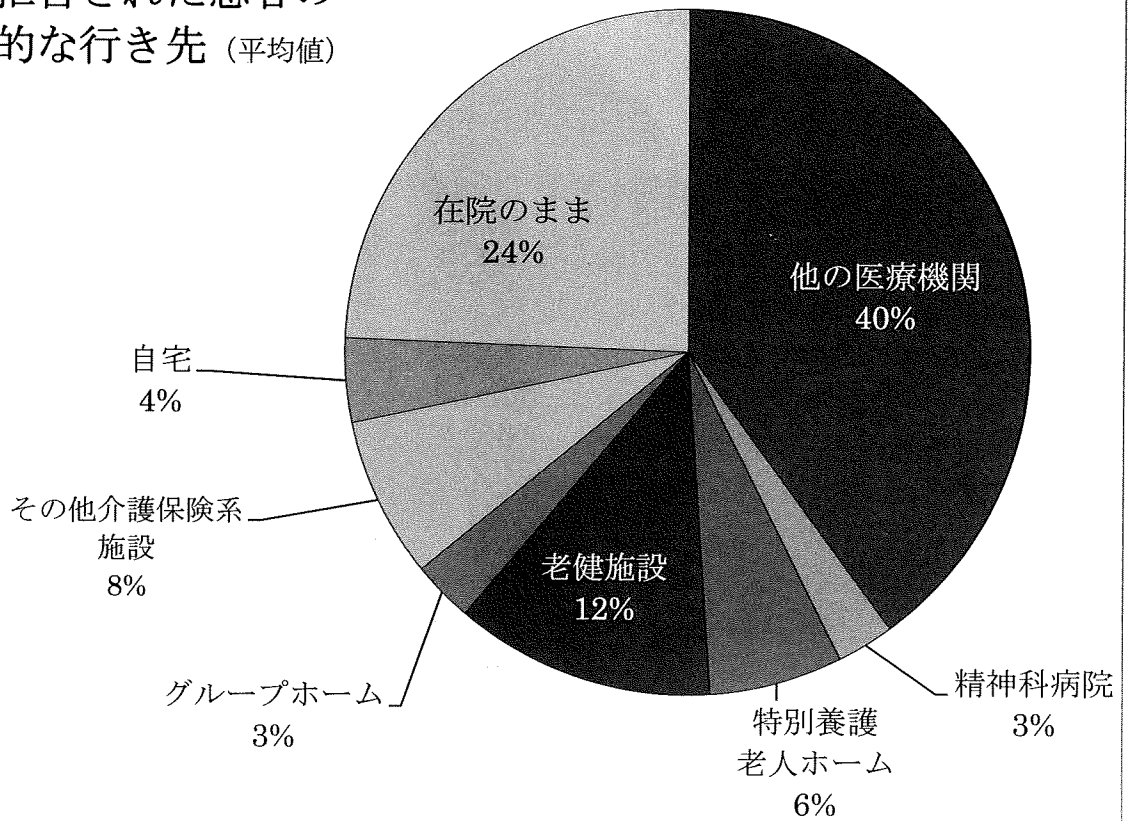


図-12

受入を拒否された患者の
最終的な行き先 (平均値)



II. 分 担 研 究 報 告 書